

所在地

姫路市香寺町須加院

分類区分

人の暮らしに密接に関わる自然景観

眺望性

中景

主な視点場

秋の紅葉

保全制度

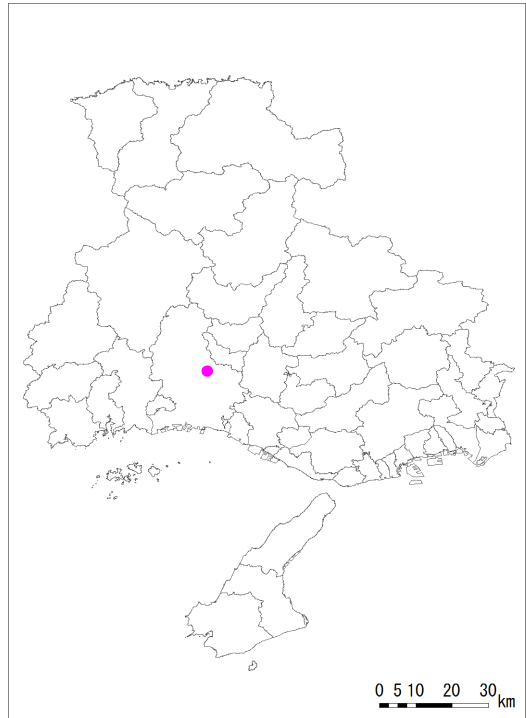
—

概要

古代人が神の座と信じた磐座の一つで、「播磨風土記」に出てくる「石挫神山」とされている。オーバーハングした高さ約8m、横幅約15mほどの大きな岩盤が神秘的で、秋には周囲の紅葉が美しく、護摩焚きなどの神事もある。

保全に対する留意点

—



写真提供：姫路市